

10・8 なくそ＝原発大集会成功で 広げよう! 「原発再稼働許すな」の声を

総選挙で 原発推進の

自公政権にNOの審判を!

原子力規制委員会は柏崎刈羽原発6・7号機について、規制基準に「適合」するとの審査書案を公表。また、解散・総選挙で原発問題が重要争点になる中で開かれる今年の集会は、特別な意味を持っています。

福島第一原発事故を起こし収束の目途も立たない東電に、しかも同じ沸騰水型の原発の再稼働を認めるなど許されたいこと。原発再稼働ストップ、原発推進安倍自公政権の県民の意思を示すため、みんなの力で集会を成功させましょう。

10月8日(日)は
県民会館 大集会へ
こぞってご参加を!
あなたの参加が、
再稼働NOの力
に!

☆大型バス2台用意。まだ余裕があります。ぜひご利用ください。
(バス代往復1,000円)

☆参加費500円です。
集会費用は参加者のカンパで賄う予定でしたが、会館の規定により参加費をいただくことになりました。(集会の途中で集めさせていただきます)

県民が率直に感じる疑問 正面から検証を!!

「安全な避難方法に関する検証」問題で 県知事に申し入れ



広井事務局長から要望書を受け取る伊藤原子力安全広報監。
「知事に伝えます」と対応。
9月30日付新潟日報記事を別紙要望書資料の裏面で紹介しています。ご覧ください。

米山知事は「3つの検証なしに再稼働の議論はできない」とし、8月にそれぞれの検証委員会を設置。第一回避難委員会(9/19)をゼロネット事務局三人で傍聴した上で、9月29日、検証にあたって踏み込んだ対応を求める要望書を提出しました。(全文は別紙をご覧ください。)

一つは30km圏内の多くの県民が率直に疑問に感じていることに、正面から切り込んだ検証をしてもらいたい。(①輪切りによる避難区分で安全性が守れるのか。②被ばくが前提で安全性が担保されていない国の指針についての掘り下げた検証を。③複合災害時に果たして安全な避難方法があるのかどうか。)もう一つは、検証の結果「安全な避難は難しい」場合には、県知事としてこの面からも「再稼働は認められない」と明確に表明するように申し入れました。

◆10月の街頭行動 10月11日(水) 16:30~17:30 アオーレ前 ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第70号 2017年10月1日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 24-2870
佐藤090-4925-3707